

2016年3月期中間決算説明会資料

株式会社島津製作所

代表取締役社長 上田輝久

2015年度上期/ 損益計算書

単位: 億円, 除く営業利益率・EPS

	上期 PL		YoY	
	2016.3 期	2015.3 期	額	率
売上高	1604	1416	188	13.2%
営業利益	145	100	44	43.9%
営業利益率	9.0%	7.1%	1.9%ポイント改善	
経常利益	149	102	47	46.7%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	103	64	39	59.9%
EPS	¥34.92	¥21.83	¥13.09	59.9%

■ 上期期中平均為替レート

2015.4.1 - 2015.9.30: \$1 = ¥ 121.87, €1 = ¥ 134.35

2014.4.1 - 2014.9.30: \$1 = ¥ 102.28, €1 = ¥ 139.48

2015年度上期/ 利益解析

単位：億円

項 目	前年同期比
売上総利益	+93
売上高増加による影響	+76
採算率1.1%ポイント改善による影響	+17
販売費・一般管理費 増加	-49
営業利益	+44
営業外損益 改善	+3
経常利益	+47

2015年度上期/ 事業セグメント別収益

単位: 億円, 除く営業利益率

		上期セグメント別収益		YoY	
		2016.3 期	2015.3 期	額	率
計測機器	売上高	976	856	120	13.9%
	営業利益	142	105	37	34.6%
	営業利益率	14.6%	12.3%	2.3%ポイント改善	
医用機器	売上高	300	274	26	9.5%
	営業損失	(1)	4	(5)	—
航空機器	売上高	122	105	17	16.0%
	営業損失	(6)	(12)	6	—
産業機器	売上高	173	148	25	17.4%
	営業利益	12	9	3	26.7%
	営業利益率	6.9%	6.4%	0.5%ポイント改善	
その他	売上高	33	33	0	0.0%
	営業利益	6	6	0	2.6%
営業利益調整額		(8)	(12)	4	—
合計	売上高	1604	1416	188	13.2%
	営業利益	145	100	44	43.9%

2015年度上期/ 事業セグメント別売上高構成 〈1〉

単位: 億円

計測機器

	上期 「計測機器」売上高構成		YoY	
	2016.3 期	2015.3 期	額	率
日本	372	355	17	4.7%
海外	604	501	103	20.5%
海外売上高比率	61.9%	58.5%	3.4%ポイント拡大	
合計	976	856	120	13.9%
汎用分析機器 医薬, ヘルスケア, 化学などでの R&D・QA/QC	659	565	94	16.6%
内クロマトグラフ・質量分析計	530	448	82	18.3%
クロマトグラフ・質量分析計の海外売上高比率	73.8%	70.6%	3.2%ポイント拡大	
表面分析機器 電気・電子などでの R&D・QA/QC	48	46	2	3.1%
環境分析機器 水質・大気のモニター	54	49	5	11.1%
試験機・非破壊検査機器 鉄・非鉄, 新素材(試験機), 電気・電子(非破壊) などでの R&D・QA/QC	91	87	4	5.1%
その他 受託分析などの子会社売上	124	109	15	12.9%
合計	976	856	120	13.9%

2015年度上期/ 事業セグメント別売上高構成 〈2〉

医用機器

単位: 億円

	上期「医用機器」売上高構成		YoY	
	2016.3 期	2015.3 期	額	率
日本	149	139	10	7.3%
海外	151	135	16	11.7%
海外売上高比率	50.4%	49.4%	1.0%ポイント拡大	
合計	300	274	26	9.5%

2015年度上期/ 事業セグメント別売上高構成 〈3〉

航空機器

単位: 億円

	上期「航空機器」売上高		YoY	
	2016.3期	2015.3期	額	率
日本(⇒防衛向け搭載機器)	91	83	8	8.6%
海外(⇒旅客機用搭載機器)	31	22	9	44.9%
海外売上高比率	25.6%	20.5%	5.1%ポイント拡大	
合計	122	105	17	16.0%

2015年度上期/ 事業セグメント別売上高構成 〈4〉

産業機器

単位: 億円

	上期 「産業機器」売上高構成		YoY	
	2016.3 期	2015.3 期	額	率
日本	90	77	13	18.2%
海外	83	71	12	16.5%
海外売上高比率	47.9%	48.3%	0.4%ポイント縮小	
合計	173	148	25	17.4%
TMP	54	47	7	14.3%
油圧機器	58	55	3	5.3%
その他	61	46	15	35.3%
合計	173	148	25	17.4%

2015年度上期/ 地域別売上高構成 〈1〉

単位: 億円

	上期 地域別売上高		YoY	
	2016.3 期	2015.3 期	額	率
日本	735	687	48	7.0%
海外	869	729	140	19.2%
海外売上高比率	54.2%	51.5%	2.7%ポイント拡大	
米州	243	199	44	22.4%
欧州	127	124	3	2.8%
中国	287	239	48	19.8%
その他のアジア	153	113	40	35.3%
その他	59	54	5	8.9%
合計	1604	1416	188	13.2%

*「その他のアジア」は日本・中国を除くアジア地域の総売上高。

*「その他」は中近東・オセアニア・アフリカの総売上高。

2015年度上期/ 地域別売上高構成 〈2〉

日本

単位: 億円

	上期 「日本」売上高構成		YoY	
	2016.3 期	2015.3 期	増減額	増減率
計測機器	372	355	17	4.7%
医用機器	149	139	10	7.3%
航空機器	91	84	7	8.6%
産業機器	90	76	14	18.2%
その他	33	33	0	0%
合計	735	687	48	7.0%

2015年度上期/ 地域別売上高構成 〈3〉

米州

単位:億円

	上期「米州」売上高構成		YoY	
	2016.3期	2015.3期	増減額	増減率
計測機器	139[122]	117[94]	22[28]	19.6%[29.7%]
医用機器	55[47]	48[34]	7[13]	14.3%[38.3%]
航空機器	27[27]	20[20]	7[7]	35.6%[35.6%]
産業機器	22[21]	14[14]	8[7]	53.5%[51.6%]
合計	243[217]	199[162]	44[55]	22.4%[34.2%]

*カッコ内は米州のうち北米の売上高.

2015年度上期/ 地域別売上高構成 〈4〉

欧州

単位: 億円

	上期「欧州」売上高構成		YoY	
	2016.3 期	2015.3 期	増減額	増減率
計測機器	105	98	7	7.3%
医用機器	15	19	(4)	(17.4)%
航空機器	3	0	3	x3.5
産業機器	4	7	(3)	(41.9)%
合計	127	124	3	2.8%

2015年度上期/ 地域別売上高構成 〈5〉

中国

単位: 億円

	上期 「中国」売上高構成		YoY	
	2016.3 期	2015.3 期	増減額	増減率
計測機器	218	176	42	23.3%
医用機器	30	30	0	0.8%
産業機器	39	33	6	18.4%
合計	287	239	48	19.8%

2015年度上期/ 地域別売上高構成 〈6〉

その他のアジア

単位:億円

	上期 「その他のアジア」売上高構成		YoY	
	2016.3 期	2015.3 期	増減額	増減率
計測機器	107	80	27	33.8%
医用機器	28	15	12	81.8%
航空機器	1	0.2	0.8	x2.8
産業機器	17	17	0	(1.7)%
合計	153	113	40	35.3%

*「その他のアジア」は日本・中国を除くアジア地域の総売上高。

2015年度上期/ 地域別売上高構成 〈7〉

その他

単位: 億円

	上期 「その他」地域売上高構成		YoY	
	2016.3 期	2015.3 期	増減額	増減率
計測機器	34	30	4	14.4%
医用機器	23	23	0	(2.8)%
産業機器	2	1	1	x2.6
合計	59	54	5	8.9%

*「その他」地域は中近東・オセアニア・アフリカの総売上高。

2015年度上期末/ 流動資産

単位: 億円, 月

	流動資産			YoY (対 2014.9.30)	
	2015.9.30	2015.3.31	2014.9.30	額	率
売上債権	910	1032	889	21	2.3%
回転期間	3.4ヶ月	3.9ヶ月	3.8ヶ月	0.4ヶ月改善	
棚卸資産	793	749	765	28	3.7%
回転期間	3.0ヶ月	2.9ヶ月	3.2ヶ月	0.2ヶ月改善	

2015年度上期末/ 負債及び資本

単位: 億円

	有利子負債			YoY(対 2014.9.30)	
	2015.9.30	2015.3.31	2014.9.30	額	率
短期借入金	51	87	115	(64)	(55.7)%
長期借入金	11	9	7	4	70.0%
社債	150	150	150	0	0%
有利子負債合計	212	246	272	(60)	(21.9)%

	資産			YoY(対 2014.9.30)	
	2015.9.30	2015.3.31	2014.9.30	額	率
自己資本	2163	2098	1907	256	13.4%
総資本	3352	3398	3158	194	6.1%
自己資本比率	64.5%	61.7%	60.4%	4.1ポイント改善	

2015年度上期/ キャッシュフロー計算書

単位: 億円

	上期 CF		YoY	
	2016.3 期	2015.3 期	額	率
営業キャッシュフロー	171	207	(36)	(17.2)%
投資キャッシュフロー	(62)	(59)	(3)	—
フリーキャッシュフロー	109	148	(39)	(25.9)%
財務キャッシュフロー	(64)	(286)	222	—

2015年度下期の市況見通し

<主要地域の市況見通し>

- * 日本：緩やかな景気回復のもと、総じて安定した国内景気を見込む
一部海外市況の悪化による国内での投資マインドの減退を懸念
- * 米国：安定成長が持続、製薬・ヘルスケア等の先端分野で堅調な投資を予想
製造業活動の拡大ペースに鈍化傾向が見られることには要注意
- * 欧州：西欧・東欧地域の底堅い需要を予想
低迷が続くロシア経済、難民対応による国家財政への影響など官公需で懸念材料が浮上
- * 中国：製薬・食品また環境などの分野で官民の需要増を見込む
経済成長鈍化による市況への影響に注目
- * アジア・オセアニア：西南アジアでの製薬分野における旺盛な設備投資の継続を予想。またTPP協定に基づく、食品・医薬品の品質・安全性強化に係る分析需要の拡大に期待
米国金融政策による各国経済への影響に注目



2015年度年間/業績予想

単位: 億円, 除く営業利益率・EPS

	年間 PL		YoY	
	2016.3 期予想	2015.3 期	額	率
売上高	3400	3147	253	8.0%
営業利益	345	272	73	26.9%
営業利益率	10.1%	8.6%	1.5%ポイント改善	
経常利益	340	284	56	19.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	230	184	46	24.7%
EPS	¥78.00	¥62.55	¥15.45	24.7%

■ 年間期中平均為替レート

2015.4.1 - 2016.3.31 想定: \$1 = ¥ 120.00, €1 = ¥ 132.00

2014.4.1 - 2015.3.31 : \$1 = ¥ 108.47, €1 = ¥ 139.71

2015年度年間/ 事業セグメント別業績予想

単位: 億円

		年間 セグメント別収益予想		YoY	
		2016.3 期予想	2015.3 期	額	率
計測機器	売上高	2085	1926	159	8.3%
	営業利益	320	268	52	19.4%
医用機器	売上高	635	594	41	6.9%
	営業利益	16	14	2	11.3%
航空機器	売上高	280	248	32	12.7%
	営業利益	0	(23)	23	—
産業機器	売上高	335	310	25	8.2%
	営業利益	21	20	1	6.8%
その他	売上高	65	69	(4)	(5.4)%
	営業利益	13	13	0	(1.2)%
営業利益調整額		(25)	(20)	(5)	—
合計	売上高	3400	3147	253	8.0%
	営業利益	345	272	73	26.9%

トピックス I : 計測機器「イノベーションセンター」 〈1/3〉

〈イノベーションセンターの開設〉

- ヘルスケア・製薬・食品・環境等において、先進的研究者との共同研究を通じて新分野の開拓に挑戦
- 地域特有のニーズを反映したアプリケーションベースの開発を推進
- 米国・欧州・中国・東南アジアの4ヶ所で順次立ち上げ
- 米国では本年7月に、続いて中国では10月にセンターをオープン、欧州・東南アジアでは2016年度の開所を予定
- 付加価値を一層高めた製品・サービスの投入に繋げ、顧客満足度とブランド力のグローバルな向上を追求



米国「イノベーションセンター」の共同研究先の一つ、テキサス大学アーリントン校ケビン・シャグ教授(右側)のラボ

トピックス I : 計測機器「イノベーションセンター」 〈2/3〉

〈イノベーションセンターのグローバル展開〉

拠点	研究概要	主な共同研究機関	重点的取組分野
米国 メリーランド州コロンビア	ソフトウェア開発・カスタマイズ対応・アプリケーション開発・戦略的協業の4機能を立ち上げ、臨床検査キット、自動前処理技術、各種アプリケーションまた機能を絞り込んだ専用機等の開発を推進	ジョンズホプキンス大学 テキサス大学アーリントン校	ヘルスケア 医薬品 食品 環境 エネルギー
中国 北京市	質量分析に特化した研究機能を立ち上げ、医薬品・食品・ヘルスケア、また環境等の分野で先進的なアプリケーション・メソッドの開発やデータベースの構築を推進	北京大学 中国食品薬品検定研究所 中国農業部、中国環境保護部	ヘルスケア 医薬品 食品 環境 エネルギー
欧州 ドイツ デュイスブルク市	西欧・東欧の有名大学との現在の共同開発をベースに、医薬品・食品・ヘルスケア、また材料の分野で、アプリケーション・メソッドの開発やデータベースの構築を検討	調整中	ヘルスケア 医薬品 食品 材料
東南アジア シンガポール	機能を高めた医薬品管理用ソフトウェアや加工食品の安全性強化に向けたメソッドの開発を検討	調整中	医薬品 食品



トピックス I : 計測機器「イノベーションセンター」 〈3/3〉

〈島津中国質量分析センターの概要〉

- 質量分析計に特化したイノベーションセンター「島津中国質量分析センター」を設立
- 高度な専門知識を有する中国人研究者を中心に、最新の質量分析計による研究をスタート
- 食品・医薬品での安全性強化、環境規制強化、また新生児医療の質的向上等、中国で進められる様々な安心・安全の向上への取り組みに優れた研究成果で貢献



ヘルスケア

北京大学第一病院

新生児MSスクリーニングの研究



医薬品

中国食品薬品検定研究所

中国薬典規制物質データベースの構築



食品

中国農業部北京蔬菜研究所

残留農薬の自動分析メソッドの開発, データベースの構築



環境

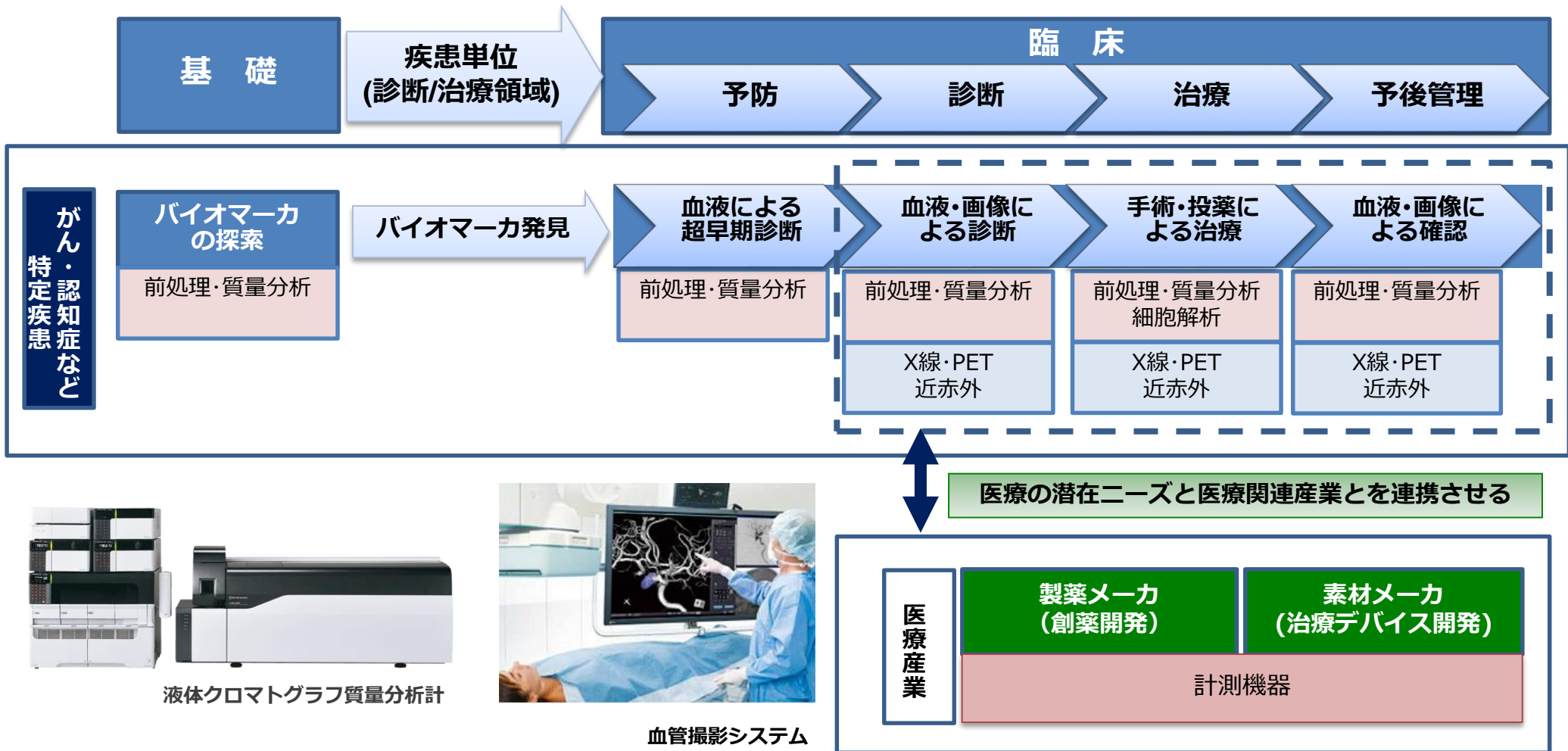
中国環境保護部国家環境分析測試中心

持続性有機汚染物(POP₃)分析メソッドの開発



トピックスⅡ：「新たな成長に向けたヘルスケア戦略」

疾患（診断/治療領域）ごとに基礎医学から予防・診断・治療・予後管理までの全体を俯瞰した事業モデルの構築を目指す



液体クロマトグラフ質量分析計



血管撮影システム



本説明資料に記載の将来の業績に関する内容は、経済情勢・為替・テクノロジーなど様々な外部変動要素により、事前見通しと大きく異なる結果となることがあります。